

感染症科 臨床研修到達目標（選択）

1. 特徴

八王子で唯一のエイズ拠点病院です。

全診療科と連携し、プライバシーに配慮した HIV 診療を行います。

2. ねらい

いずれの科に進むとしても携わることになる病歴、身体所見をもとにした鑑別診断、感染症診療ならびに感染制御の基本を、担当症例やクルズスを通して身につける。また、微生物検査室や薬剤部と協力して診療にあたり、チーム医療の実践を行う。

3. 一般目標

- ① 担当症例の病歴や患者背景を正確に把握し、診療録に記載できる
- ② 患者の全身の診察を適切に行い、診療録に記載できる
- ③ 培養検体の採取を適切に行い、細菌学的検査（グラム染色、培養、薬剤感受性検査など）の適応が判断でき、結果の解釈ができる
- ④ 感染症診断のための、血清学的検査、尿検査、画像検査などの適応が判断でき、結果の解釈ができる
- ⑤ 発熱を診察して熱源を考察し、治療に参加できる
- ⑥ 急性感染症について、初期治療に参加できる
- ⑦ 脳炎・髄膜炎を診察し、治療に参加できる
- ⑧ 皮膚軟部組織感染症を診察し、治療に参加できる
- ⑨ 呼吸器感染症（急性上気道炎、気管支炎、肺炎）を診察し、治療に参加できる
- ⑩ 胆道系感染症（胆嚢炎、胆管炎）を診察し、治療に参加できる
- ⑪ 尿路感染症を診察し、治療に参加できる
- ⑫ 血流感染症（カテーテル関連血流感染症、感染性心内膜炎など）を診察し、治療に参加できる
- ⑬ 腸管感染症を診察し、治療に参加できる
- ⑭ 骨・関節感染症を診察し、治療に参加できる
- ⑮ ウイルス感染症（インフルエンザ、麻疹、風疹、水痘、ヘルペス、流行性耳下腺炎）を診察し、治療に参加できる
- ⑯ 細菌感染症（ブドウ球菌、MRSA、A 群レンサ球菌、クラミジア）を診察し、治療に参加できる
- ⑰ 結核を診察し、治療に参加できる
- ⑱ 真菌感染症（カンジダ症）を診察し、治療に参加できる
- ⑲ 性感染症を診察し、治療に参加できる
- ⑳ 寄生虫疾患を診察し、治療に参加できる

4. 研修方略

- 実際の症例をもとに、身体所見・病歴から鑑別診断とその優先順位、診療計画を考える、というプロセスを繰り返し行います。

- エビデンスをどのような情報源から取得し、使い分けるためのレクチャー・実践を行います。
- 臨床で得られた情報とエビデンスから自身で判断するための研修となります。
- 英語論文、教科書（英語）を用います。

【必要な書籍】

- * 事前購入もしくは貸与可
ワシントンマニュアル（英語版）

5. 週間スケジュール

科	月	火	水	木	金	土
感染症科	外来 通常業務	通常業務	出張日 偶数週のみ	通常業務	外来 通常業務	外来 第一土曜
	ICT ミーティング	出張日	出張日 偶数週のみ	通常業務	通常業務	

通常業務：血液培養全例介入、コンサルテーション（往診）、COVID-19 マネージメント

6. 研修評価

- 1) 自己評価：PG-EPOC を用いて自己評価を行う
(症候、疾病・病態の経験については PG-EPOC にて確認を行う)
- 2) 指導医による評価：PG-EPOC を用いて研修医を評価する
(症候、疾病・病態の経験については PG-EPOC にて確認を行う)
- 3) 研修医による研修体制評価：PG-EPOC を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

7. 指導体制

指導責任者 平井 由児

指導医 石橋 令臣